

令和5年度

愛知県放課後児童支援員キャリアアップ研修（20231113）

テーマ3「児童期の発達と遊び」レポート

（ あおぞらクラブ ） （ 筧 由衣 ）

講義の中で気になることが2つありました。「結果が不確実なものが遊びである」「暇から遊びはうまれる」という先生のお話です。

1つめの「結果が不確実なものが遊びである」というお話に関しては、私が日々一緒にすごしている子どもたちの中には、負けたら嫌だからという理由や、ルールを知らないからという理由で、勝敗のつく遊びをしたがらない子どもたちがいるなと思いながら聞きました。では、そんな子どもたち相手にどうするのがいいのだろう？と考えさせられることがしばしばあります。

2つめの、「暇から遊びはうまれる」というお話に関してもやはり暇だという子どもたちの顔を思い浮かべながら聞きました。そういった場合に、一緒に遊べるように声掛けをしても、だいたい子どもが何もしないと答える現実には、では、そんな子どもたち相手にどうするのがいいのだろう？とやっぱり考えさせられます。

私が気になったこの2つに当てはまる子どもたちは、決められていない自由な時間が苦手なのかもしれないし、勝負に負けてバカにされた経験があるのかもしれないし、その遊びが本当は楽しいことを知らないのかなとも考えてみたりします。

子どもにとって遊びはワクワクするものであって欲しいと思っているし、自発的にあれしたいこれしたいと思って欲しいなという思いから、私は私の側から子どもを遊びに誘うことをあまりしません。しかし、そういったことが苦手かもしれない子たちへ向けて、遊びの楽しさや、勝っても負けても大丈夫なんだと知ってもらうために、また、遊びに対して不安を持ったり、暇だと思ふことなく遊べるように、私の側から「この遊びしてみようよ」と誘ってみてもいいのかもしれないと考えさせられる講義でした。